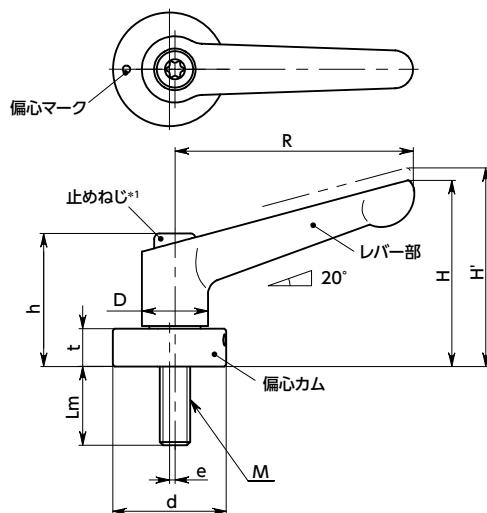


**LDM-EC** 偏心カムつきクランプレバー

- 偏心カムつきのクランプレバー。
- ワークの着脱がすばやくできます。
- レバーを引き上げれば、偏心カムに対してレバーがフリーになり、レバーの位置を自由に変更することができます。
- レバー部は、傷が目立ちにくい、つや消しタイプの静電塗装。
- レバー部のカラーバリエーションは4種類。品番の末尾記号により、選択できます。

末尾記号	レバー部の色
BK	つや消し黒
SG	つや消しシルバー
OR	つや消しオレンジ
RD	つや消しレッド

\*1: 止めねじの頭の形を六角穴付きからヘクサゴン穴付きに変更しました。

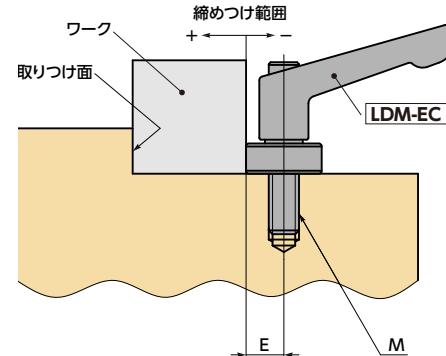
## ● 材質・仕上げ

	LDM-EC	RoHS
レバー部	亜鉛ダイカスト、静電塗装(各色)	
偏心カム	SCM435、焼入れ(硬度: 50 - 55HRC)	
ねじ部	SUM22L、四三酸化鉄皮膜(黒)	
止めねじ	スチール、四三酸化鉄皮膜(黒)	
スプリング	ステンレス鋼線またはSWPB	

品番	M(並目)		Lm	R	H	H'	h	D	d	e	t	歯数	許容締付けトルク(N·m)	質量(g)	単位:mm
	ねじの呼び	ピッチ													
LDM-6-EC	M6	1	15.5	45	38.5	42	29	13	20	1	8	18	6	54	
LDM-8-EC	M8	1.25	18.5	63	51.5	55.5	37.5	17.5	30	1.5	12	24	17	143	
LDM-10-EC	M10	1.5	18	78	61	65	43	21	35	2	14	26	20	229	

## ● 取りつけ寸法

品番	E		M		調整範囲 min. / max.	
LDM-6-EC	9.5 <sup>+0.3</sup> <sub>0</sub>		M6		-0.5	/ 1.5
LDM-8-EC	14.2 <sup>+0.3</sup> <sub>0</sub>		M8		-0.7	/ 2.3
LDM-10-EC	16.5 <sup>+0.3</sup> <sub>0</sub>		M10		-1	/ 3



● 品番指定 ※価格・納期はNBKウェブサイトをご覧ください。

**LDM-8-EC-BK**

① ②



## ● 取りつけ方法

- 偏心カムの座面が軽くあたるまでねじ穴に[LDM-EC]をねじ込んでください [図1]。
- 偏心マークが[図2]の位置になるように、レバーをゆるめてください。このとき、レバーを引き上げれば、偏心カムに対してレバーがフリーになり、レバーの位置を自由に変更することができます。
- レバーをさらにゆるめて、偏心マークが[図3]の位置になるようにしてください。
- 偏心マークが[図3]の位置にある状態で、固定したいワークを偏心カムと取り付け面の間に入れてください。
- レバーを右回転に締めつけると、偏心カムがワークを取り付け面に押しつけてワークを固定します [図4]。
- 最後に、レバーを邪魔にならない位置に変更してください [図5]。

図1

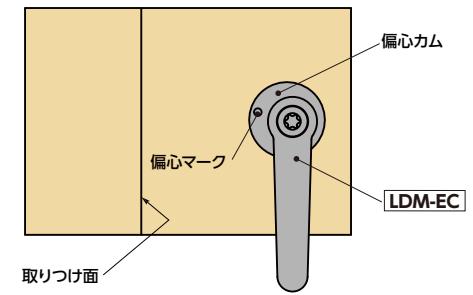


図2

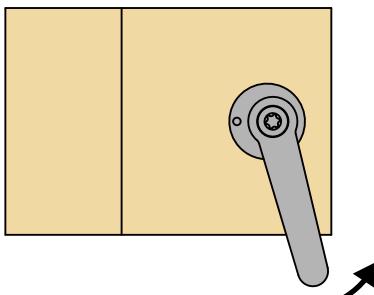


図3

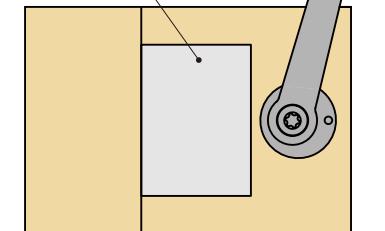


図4

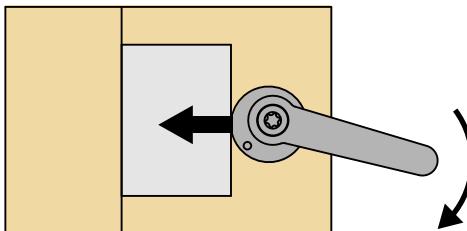


図5

